

床と地表地質が酷似しているところから 彼等が物探としては既存の資料が皆無にひとしい同島をえらんで自社の保有する最高の技術を結集し 一発 派手なホームランを狙った意図は理解に難くない。

第11図中に明瞭に浮き出ている導電率のlineamentをスクリップス海洋研究所が発表した精細な海底地形図と比較検討した結果 Tonga Vitiaz の両海溝との関連性が明らかに認められた。注目されるのは同一地域の等磁力線図(第12図)にみられる構造パターンとは部分的にしか相関のないことで これも前記の EM-18や Lake Dalembert の例と同じく 比抵抗と磁性というまったく異質の物理量の融合によってはじめて実りうる所産といえよう。

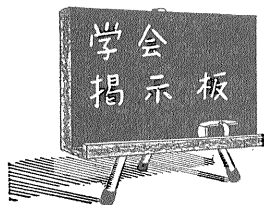
なお地形の影響は通常の AEM では 電波高度計の記録によって補正するのが常道だが ここでは垂直電界の散乱が山岳部で変動を受ける現象を利用し これまたコンピュータを持ち出して自動補正しているのも興味を引く。一時この Fiji 調査は 一部で失敗をささやかれたこともあったけれども 72年にいたり ボーリングを担

当する AMAX との joint venture の契約締結にまでこぎつけたと報じられている。

もう一度 E-Phase にもどって その応用面の一に地熱探査が考えられていることを付記しておく。ニュージーランド アイスランド あるいは東アフリカなどにおける地表調査の結果によれば 地温の高い地熱地帯では比抵抗の激減が知られており いくら貧弱とはいえ赤外線などよりは E-Phase の方が浸透力があるからこれと Radio Phase とを組合わせて構造規制を さらに水銀スペクトロメータをも動員して地熱異常の探知に有効と Barringer 社は PR にこれつとめている。

一方 この地熱探査とまさに正反対の極に立つのは日本ではあまり縁がないが 比抵抗が10,000Ωm前後にも達する永久凍土帯(Permafrost)の調査で 極地方でのパイプライン建設に関する基礎資料となることが期待されているというから AEM の応用範囲もずいぶん拡大したものである。(つづく)

(筆者は 物理探査部)



・日本岩石鉱物特殊技術研究会

1. 昭和48年8月4日 (土)~6日(月)
2. 第16回研究発表会 (金属 非金属 構造地質 耐火物等の薄片 研磨片の作成に関する講演会)
3. 東北大学理学部地学

第2 (岩石鉱物鉱床学教室 仙台市青葉山字青葉)

4. 日本岩石鉱物特殊技術研究会
5. 神奈川県川崎市高津区久本135 地質調査所内
日本岩石鉱物特殊技術研究会
☎(044) 86-3171 (内線 211)

・International Symposium on Volcanism and Associated Metallogenesis

1. 昭和48年9月3日~8日
2. 火山活動および鉱床生成に関する国際シンポジウム
3. プカレスト ルーマニア
4. ルーマニア鉱山・石油・地質省 文部省
5. Prof. D. Radulescu, Fac. Geologie-Geografie, Bull. Balcescu 1, Bucuresti, ROMANIA

・International Symposium on Underground Waste Management and Artificial Recharge

1. 昭和48年9月26日~30日
2. 地下廃棄物処理および 人工地下水に関する国際シンポジウム
3. ニューオルレアン 米国
4. アメリカ石油地質学会 米国地質調査所 国際水理地質学

会

5. American Association of Petroleum Geologists, P. O. Box 979. Tulsa, Oklahoma 74101, U.S.A.

・日本地球化学討論会

1. 昭和48年10月1日(月)~3日(水)
2. 1973年地球化学討論会
3. 秋田大学(秋田市手形学園町)
4. 日本地球化学会・日本化学会
5. 東京都杉並区高円寺北4-35 (〒166)

気象研究所地球化学研究部内 日本地球化学会事務所
☎(03) 337-1111 内線75

◎課題討論

1. 黒鉛鉱床の地球化学
 2. 有機性鉱床の地球化学
- } 招待講演のみ
他に一般討論

・日本地学教育学会

1. 昭和48年7月30日(月)~8月2日(木)
(大会7月30日・31日)
2. 昭和48年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第27回全国大会
3. 鹿児島市中央公民館・鹿児島文化センター
4. 日本地学教育学会 ほか
5. 鹿児島市上之園町23-1

鹿児島県立甲南高等学校 地学教室内
大会準備事務局

今村 隆夫 ☎(0992)54-0175

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者
5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)